

子どもの滲出性中耳炎

目次

 耳のしくみ

 病気のおこり方

 症状は

 発見のきっかけ

 かかりやすい子

 気をつけること

 診断は

 治療は

 放っておくと

 どうつきあうか

 大事なこと

どんな中耳炎

滲出性中耳炎のはなし

- 痛くない中耳炎
- 80%は自覚がない！
- どうやって治すか？
- 通うのたいへんかな
- 水泳は禁止か

耳のしくみ

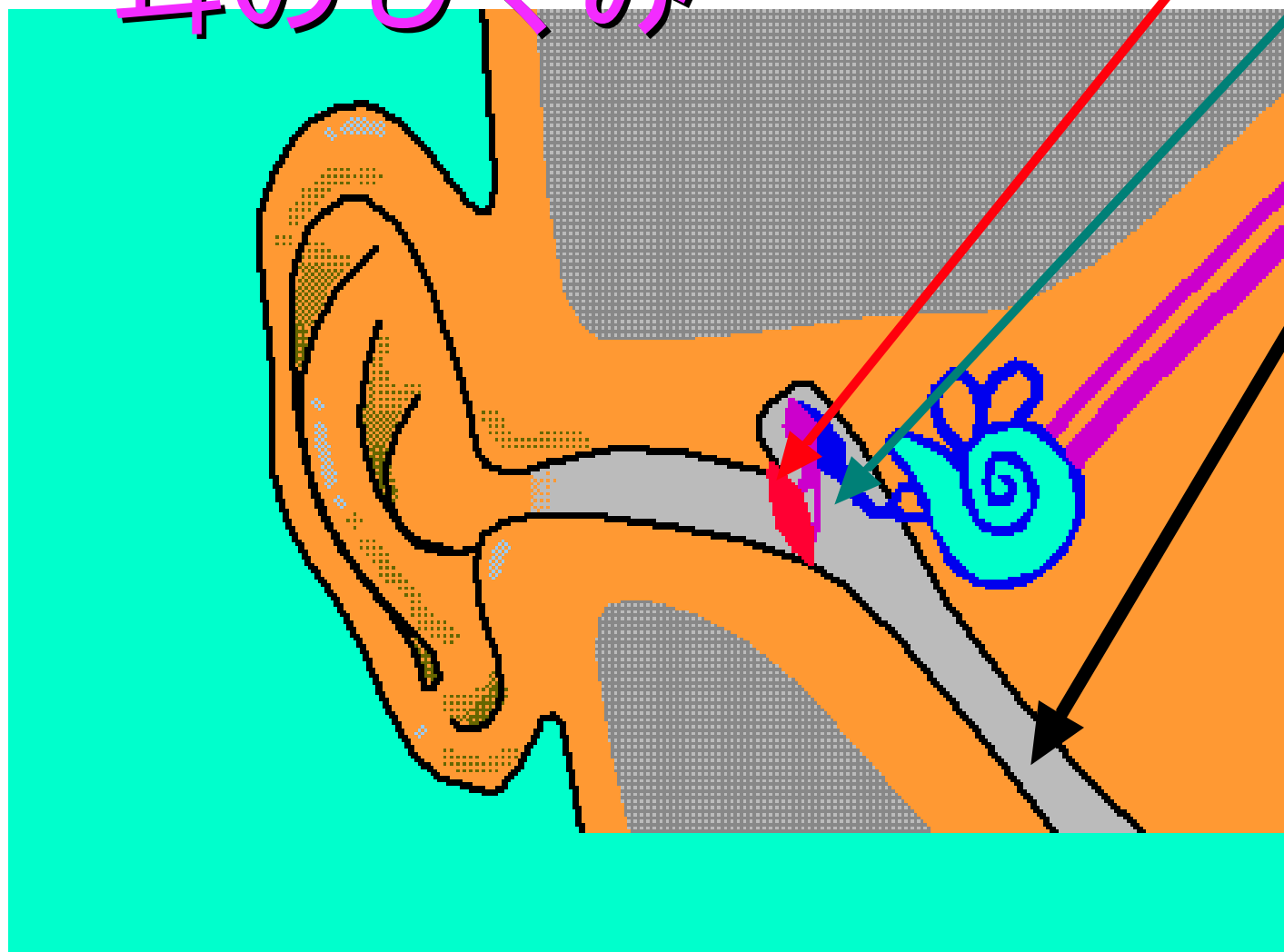
鼓膜

鼓室

鼓膜の中の
部屋です

耳管

鼻の奥と鼓室と
つなぐ管です



滲出性中耳炎のおこり方

耳管

鼻の奥と鼓室と
つなぐ管です

ここが
つまると

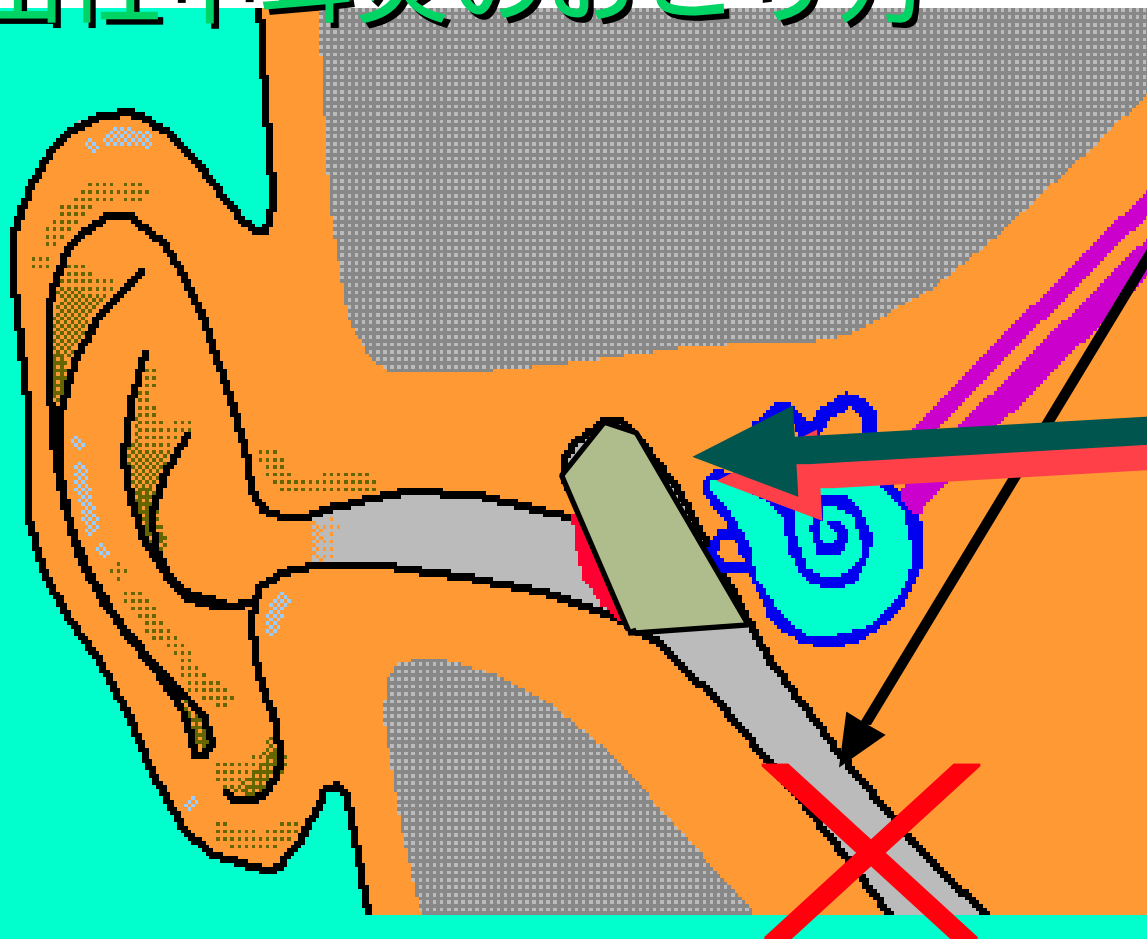
さあ！
大変です

滲出性中耳炎のおこり方

耳管

ここが
つまると

鼓室に水が
たまってき
ます



こんな病気です

滲出性中耳炎のはなし

- 痛くない中耳炎です
- 液が鼓室にたまる → 難聴となる

聞こえがわるそう？

自覚症状

- 聞こえが悪い
- 耳がつまった感じがする
- 自分の声が大きく聞こえる
- 頭の動きによって水泡音を聞く

80%は自覚がありません

滲出性中耳炎のはなし

- 乳幼児から学童に多いから、
気づいてあげられるのは、
ママだけです
- “ もしかしたら ” は発見のきっかけ

“もしかしたら”は

発見のきっかけ??

- あなたのお子様は、いくつですか？

 2 ~ 3 歳

 3 ~ 6 歳

 6 歳以上

2 ~ 3 歳

発見のきっかけ

- 言葉の発育が遅い
- おこりっぽい
- よく泣く

3 ~ 6 歳

発見のきっかけ

- 呼んでも返事をしない
- 大きな声でしゃべる
- テレビの音を大きくする
- 言ったことを聞き返す
- 言葉の数が少ない
- イライラしている
- 自身喪失のようだ

6 歳以上

発見のきっかけ

- 落ち着きがない
- 協調性がない
- 内向的である
- 学業が不振である

どんな子どもが かかりやすいのでしょうか

- かぜをひきやすい子供
- 食べものの好き嫌いが多い子供
- ちくのう症の子ども
- アレルギー体質の子ども
- いびきが大きい子ども
- 口をあいている子ども

かかりやすいのは？

どんな時にかかりやすいのでしょうか

- かぜをひいた時
特に急性中耳炎にかかった人は
要注意です
- アデノイド・扁桃腺の大きな人
- ちくのう症の人

家庭で気をつけたいこと

- 予防がむずかしい滲出性中耳炎ですが
日頃からご家庭で注意していれば
早期発見・早期治療ができます。
- バランスのよい栄養補給と体力づくり
- かぜをひかないように健康管理をおこなう
- 乳幼児から学童期にかけて，特に定期検診をする

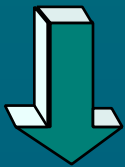
どうやって調べる

診断

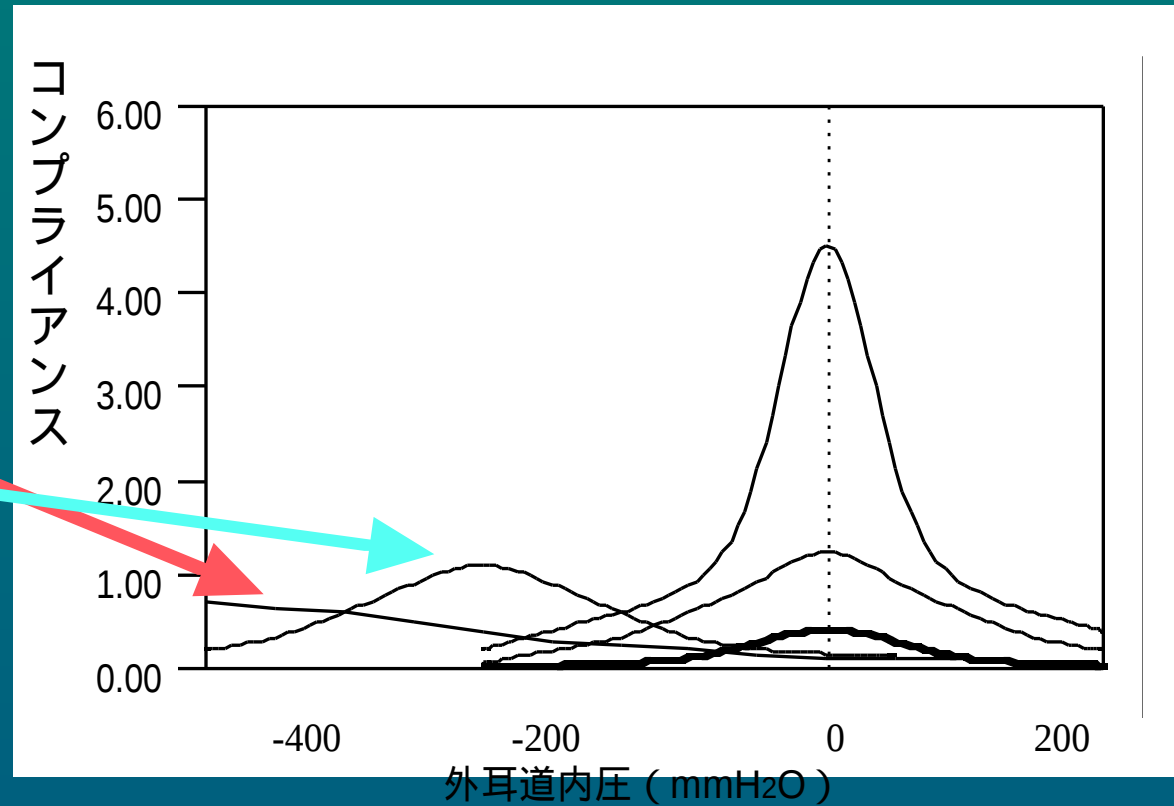
- 鼓膜の診察
- ティンパノメトリー
- 聴力検査
- 鼓膜切開により滲出液の証明

ティンパノメトリー

- B型
- C型



滲出性中耳炎



痛いこといやだけど

治療

- 原因となっている鼻・咽頭疾患を治療する
- 耳管通気法を行なうことは、耳管、鼓室粘膜の正常化、滲出物の吸収に必要
- 鼓膜切開により貯留液を排除する
- チュービング
- アデノイド切除、扁桃腺摘出などの手術

治療法の標準化

- 鼓膜切開を必要としない例：聴力障害が軽度
- 鼓膜切開の適応例；30dB以上の難聴耳，または両側に20dB以上の難聴が持続する例
- 鼓膜切開の適応をこえる例：鼓膜切開では中耳炎の再発を制御できない例で，チューブ留置術の適応となる
- いずれも鼻・咽頭への保存的治療を併用することが望ましい．

放っておくと悪くなる

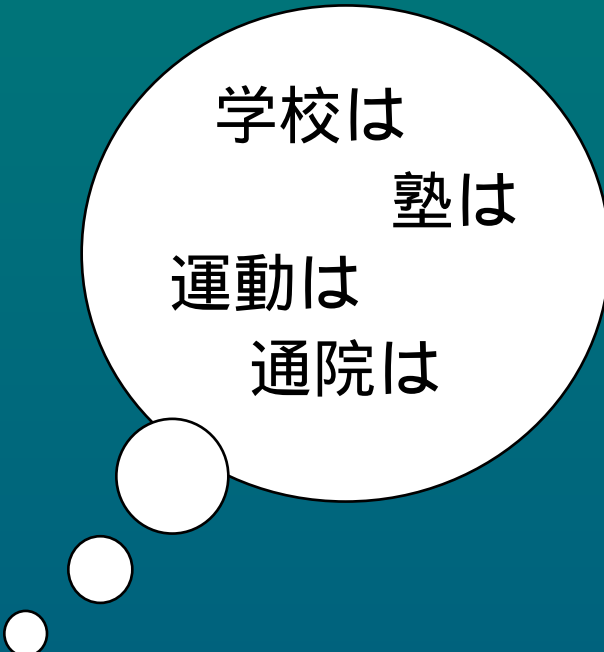
合併症，後遺症について

- 中耳真珠腫，癒着性中耳炎，コレステリン肉芽腫症があげられ，本症治療上の目的の一つにこれら重篤な疾患の予防がある

どう過ごしたらよいか

病気とどうつきあうか

- 毎日通院するのか
- 治療を嫌がる
- 部活で来られない
- 水泳は禁止か



学校は
塾は
運動は
通院は

病気とどうつきあうか

日常生活に支障がないように

- 通院に負担のないように
- 治療はこわがらないで，ちょっとがまん
- 水泳は，しながら経過をみて
 - 急性期が落ち着いたら

中耳炎をおこさないために

これは大事なことです

- 鼻をすすらない
- 強く鼻をかませない
- かぜをひいたら早めに治療をしましょう
- タバコをやめてもらいましょう

子どもの滲出性中耳炎

終